

平城公民館だより

Letter from Heijo public hall 令和6年12月20日発行

発行：(公財)奈良市生涯学習財団
平城公民館
〒631-0811 奈良市秋篠町 1468 番地
公圖 0742-48-3578
財団HP <https://manabunara.jp>
E-Mail heijo@manabunara.jp

早いもので、今年も残すところ二週間足らず。一年って早いですね。今年は年始の地震や夏の大雨など、多くの自然災害に悩まされました。来年こそは、被災された方々の生活や安心安全が元に戻り、また被災地域が一日でも早く復旧されることを願っています。



ところで来年は巳年ですね。巳とは蛇のことを表し、によろよると動くその姿からネガティブなイメージや、蛇を扱った昔話から不吉なイメージを感じたりもします。でも、昔から豊穡や金運を司る神様として祀られることもあり、神聖な生きものとして信仰の対象ともなりました。そして、脱皮をして大きくなっていくことから、「復活と再生」を連想し、強い生命力につながる縁起の良い生き物ともされています。また、巳年の巳(み)を実(み)になぞらえて、何かが結実したりする年にもなるとも言われたりします。

辰年は、龍が動く時には風が吹いたり、時に大雨や雷などが巻き起こったりするとも言われ、思いもよらない大きなことが起こる等、良くも悪くも大きく揺さぶられると言います。来年は、巳年へと移り変わり新たなことが始まったり、静かに耐え抜いてきた結果が実を結んだりする年のような気もします。ちなみに過去の巳年の出来事を調べると、645年の巳年は大化の改新が起きました。1965年の巳年は日本で高度成長が始まり「いざなぎ景気」と呼ばれました。東西ドイツの統一のきっかけとなったベルリンの壁の崩壊や平成元年は1989年の巳年。新しいことが起こったり始まったりしています。来年の新しい出来事に期待が膨らみます。



さて、11月30日、12月1日の二日間で平城公民館まつりを行いました。初日は、平城公民館で活動されているグループの皆さんの発表や展示、二日目は前日に続き展示とイベントとして2グループの発表を行いました。また、女性防災の方々の協力も得て食事の販売や、綿菓子のふるまいなども行いました。また今年新たにチャレンジしたのは、平城中学校の生徒たちにお手伝いをお願いしたという事です。最初は参加する人たちに声をかけるのにも尻込みするような感じてましたが、さすが中学生！ 私たちが思うよりも手際がよく、機転も利きます。公民館に来る人来る人に「綿菓子どうぞ」って声をかけてくれて玄関先が穏やかな温かい雰囲気につつまれました。その働きはとても素晴らしいもので、帰り際には「何かあったらまた言ってください。」と頼もしい言葉を私たちに掛けてくれました。子どもと思っていたのに立派な大人で、凄い成長を感じました。

先述したように来年は巳年、新たなことが起こる予感がする年。何か素晴らしい事が起こるような気がします。また平城公民館もこの地に根付いて40年になります。来年は40周年記念を行います。又地域の方々や中学生の協力を得ながら取り組んで参りますので、よろしくお願ひします。

～公民館まつり 大成功！～ 平城公民館まつりの様子です。皆さんの展示や、発表素晴らしかったです。今年は新しい企画として、綿菓子の振舞を行ったのですが、その費用を協賛金として公民館を利用しておられる方々にご協力を頂きました。また、女性防災の皆様方に初日の食事の提供や平城中学校の生徒さんに綿菓子の振舞のお手伝いをお願いしたりして二日間行ったのですが、皆様方の温かいご協力もあって大成功に終わりました。本当にありがとうございました。



皆さん生き生きとしていました。最高！！